

4年間の流れ 2025年度(予定) 変更になる場合があります

卒業に必要な単位:124単位

専門教育科目:70単位
 全学共通科目:26単位
 広域選択:28単位

■必修:26単位
 ■選択必修:20単位
 ■選択:24単位

	1年次	2年次	3年次	4年次		
成長のプロセス	必修の入門科目と実習科目によって、地理学の基礎を幅広く学ぶとともに初歩的な分析手法を修得する。	多彩な専門科目の中から各自の興味に応じて学びを深める。	フィールド調査を含んだ必修科目によって、野外での調査手法を修得する。	3年間学んだことを基に、卒業論文に取り組む。		
必修	<ul style="list-style-type: none"> 自然地理学入門 ① 人文地理学入門 自然地理学実習(地図学実習含む) 人文地理学実習(地図学実習含む) 	<ul style="list-style-type: none"> 地図学A/B 		<ul style="list-style-type: none"> 地理学演習 卒業論文 		
選択必修		<ul style="list-style-type: none"> リモートセンシングA/B 地形学A/B ② 気候学A/B ③ 水文学A/B ④ 	<ul style="list-style-type: none"> 地域概論A/B 環境地理学A/B 生物地理学A/B 地域統計分析法A/B 	<ul style="list-style-type: none"> 応用地理学A/B 第四紀学A/B 地理情報論 		
選択		<ul style="list-style-type: none"> 測量学 ⑤ 地域調査入門A~F GIS実習 ⑥ 地理情報解析法 地形環境調査実習 気候学実習 水文学実習 	<ul style="list-style-type: none"> 土壌地理学A/B 地球物理学A/B 景観地理学A/B 人口地理学A/B 村落地理学A/B 都市地理学A/B まちづくり論A/B 	<ul style="list-style-type: none"> 経済地理学A/B 交通地理学A/B 計量地理学実習 社会地理学A/B 文化地理学A/B 文化生態学A/B 歴史地理学A/B 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史地理学実習 地域研究論A/B 日本誌A/B 外国誌A~F 地理学特講A-I 外書講読A/B 地域計画論A/B 	<ul style="list-style-type: none"> 観光地理学 地質学A/B 海外研究A~D 民法(総則・物権法)
				<ul style="list-style-type: none"> 登記法 		

1 自然地理学入門

環境問題、自然災害、水資源、植生などの多様な切り口から、それぞれの専門教員がリレー形式で講義。自然地理学を学ぶ上での基本的な知識を身につけ、その概要を把握します。

2 地形学

地域の盤盤をなす地形の成り立ちについて、海水準や地殻変動、火山活動との関連から学びます。それらを踏まえ、地域の防災や環境保全についての具体的な対応を考えます。

3 気候学

気候の地域的・季節的な違いとその原因について、前期は日本を対象として、後期は世界を対象として学び、人間をとりまく大気環境への理解を深めます。

4 水文学

地球上の水について、その在り方や循環プロセスを学びます。これにより、水にまつわる様々な環境問題を解決するために必要な基礎知識を得ることができます。

5 測量学

長さ、高さ、角の大きさなどを測り、地図にする技術を研究するのが測量学。本講義では、古典的な測量方法から、GPSや航空機レーザを活用した測量、GIS活用まで、幅広く学習します。

6 GIS実習

地形や人口分布、土地の利用方法、サービスの利用状況など、地球上のあらゆるデータを地図上に落とし込むのがGIS(地理情報システム)。実習を重ねて、GISを使う技術を養います。

卒業論文テーマ・研究課題例

- 関東南部における夏季の局地的大雨の地域性と発生原因
- 衛星画像を用いた中国・洞庭湖周辺の土地利用変化の解析
- ラムサール条約湿地厚岸湖周辺地域における人と自然の共存への取り組みと課題
- 地震時に観測される局地的震度増大と地質との関係一埼玉県南埼玉郡宮代町を事例に一
- 鹿教湯温泉における長期滞在の現状と課題
- 新潟県のハクチョウ類渡来数に影響を与える要因

私の

1 Week Schedule [2年次]

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
前期	1	村落地理学A	リモートセンシングA		宇宙科学入門	
	2		世界史を学ぶ(1)	現代社会と宗教(1)	地図学A	地域調査入門A
	3	英語IIa	応用地理学A			
	4	社会学の基礎(3)	観光地理学		まちづくり論A	
	5				生物地理学A	
	6					
後期	1	村落地理学B	リモートセンシングB		現代の宇宙像	
	2		世界史を学ぶ(2)		地図学B	
	3	英語IIb	応用地理学B			
	4	気象と自然災害			まちづくり論B	
	5				生物地理学B	
	6					

履修のポイント

「生物地理学」では、生物の分布や生物学の基礎について学ぶことができます。幼い頃から動物の生息地に興味を持っていた私にとって、一番好きな授業です。フィールドワークを通して調査方法について学ぶ「地域環境調査法」は、自分で調査や解析ができるようになるために必要な科目です。

学びから得たこと

授業でGISの技術が身についたことで、自分で都道府県と鉄道の場所を重ね合わせた地図を作成することができるようになり、その地図を参考に旅行先を考えたことがありました。大学での学びを通して得た知識や技術を私生活に応用することができた時に、自分自身の成長を実感することができます。

Message

身につけた知識を、生活に活かしていきたい。

幼い頃から動植物に興味がありました。高校では文系選択だったこともあり、文系として生物について学びたいと考え、生物の分布という観点から学ぶことができる生物地理学に興味を持ち、専門的に学ぶことができる地域環境研究専攻を選びました。大学では好きな学問の知識を身につけるだけでなく、学ぶことの楽しさについて知ることができたと感じています。知識を定着させるために、外出する際には地形や植生、街の構造などを意識しながら景色を見るようになりました。調査する力や知識を応用させる力は社会に出てからも役立ちます。これからも、常に学び続けて自分の知識を増やすように心がけていきたいです。

阿部 唯架さん

地理学科 地域環境研究専攻 4年
山形県立新庄北高等学校 出身

